

R-18
ADULT ONLY



い
な
て
ら
ま
し
ま
も
の
に
供
な
子

{
*
Kaeya
} {
Diluc
}

GENSHIN
Impact
unofficial
fanbook

Red stylized text, possibly 'KIRI'



!※!

この作品には以下の内容が含まれます

- ・ガイアとモブ女性の絡み
- ・ジン団長うっすら登場

本作品は『原神』の二次創作本です。原作とは一切関係ありません。
無断転載や複製、フリマサイト等への出品はご遠慮ください。
この本はR-18です。18歳未満の方の閲覧は固くお断りいたします



その日僕は



一番知りたく
なかつたことを



知ってしまった

……あつた





ガイアさんの
彼女！



おいおい

彼女は
言い過ぎじゃ
ないか…？

でも最近
ガイアさんが
他の人といるところ
みたことないぜ

あれは絶対
付き合ってる！

やっぱり…？

あの騎兵隊長も
隅におけないねえ



あの二人！



ディルック様は
どう思います？



：僕には
関係ないよ



おっ

噂をすれば!



あいつが
どこで

誰と
いても





…すまない

今日は
早く閉める
予定だから
そろそろ

あら
そうなの？



じゃあ
また明日

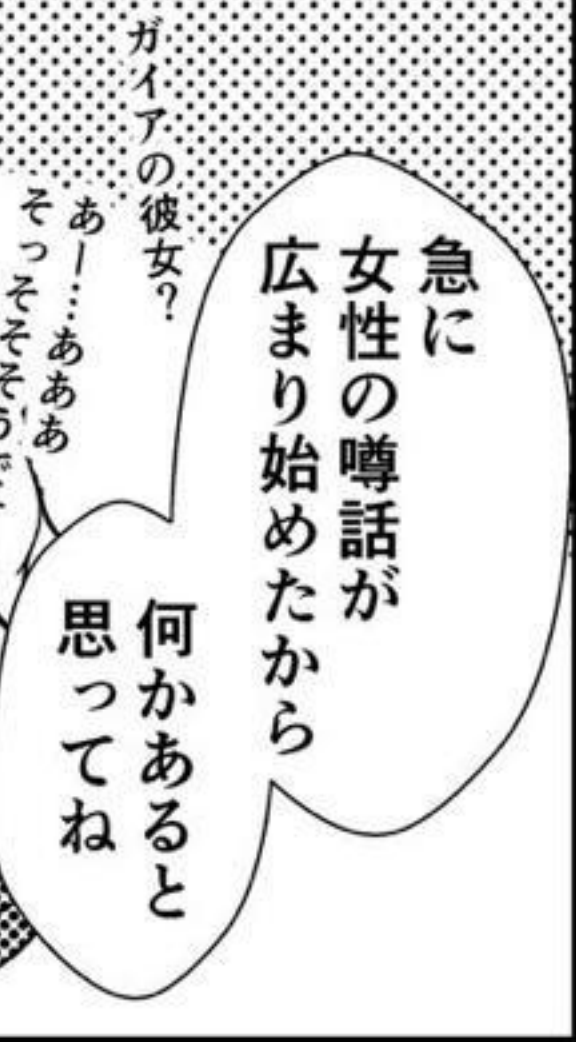


行かないの？

ああ
ちよっと
こいつに用事が


そう？







言わなくても
いいように
してくれよ



そうだ

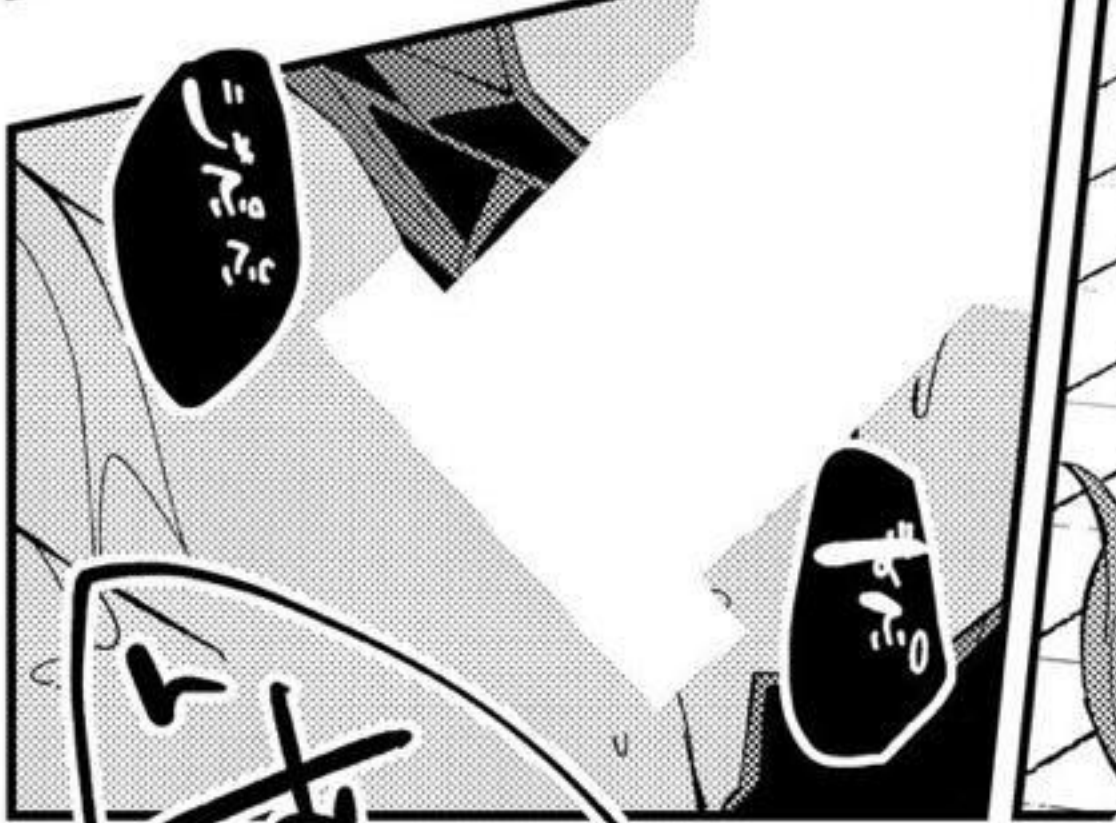
任務のことも
君が仕方なく
やっていることも



これくらいのこと
で僕らの関係は
揺らがないことだ



全部
知っていた



一人の夜は
慣れたって？

おぢい
おぢい
おぢい

奥っ

おぢい

待っ...!
うあっ





君が

任務だったと
しても

本心
じゃなくても

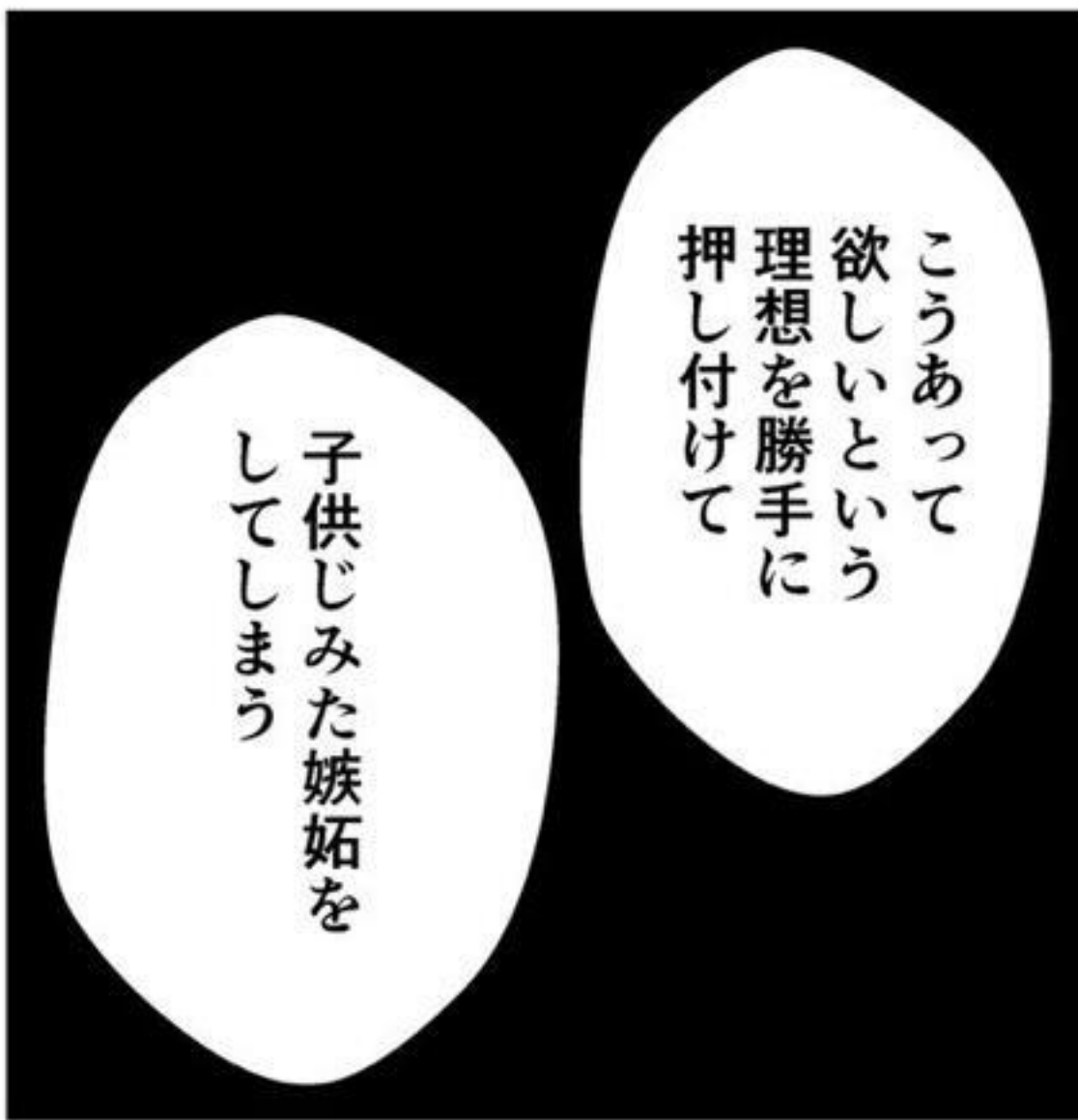
僕以外の人間に
愛してるかのように
振る舞えるような

人間だった
なんて

…なんでも
知っている気に
なっていた



だって
子供の頃から
ずっと一緒
だったじゃないか



こうあって
欲しいという
理想を勝手に
押し付けて

子供じみた嫉妬を
してしまう



…旅人に

僕のことを
『体の大きな子供』だと
言ったららしいな

金リンゴ製菓
あの時の
ことか…

…その通りさ



それでも…

たとえ
仕事だとしても



あんな顔を
向けるのは

僕だけであつて
欲しかった



デイルック…



でも君があの人に
笑いかけているのを見
てから

いろんな事を
考えてしまう



つまらない
嫉妬だと

自分でも
分かっているんだ



僕の
知らない
ところで

何度
笑いかけ
たんだろう

とか

キスを
したんだろう

とか



...

体を

分かってる

そこまでは



…こんな僕で
すまない



謝るのは
俺の方だ



お前を
傷つけることに
なるって

わかっていた
はずなのに



僕のわがままで
ガイアを
縛り付けたくない

でも
向ける笑顔も
触れる体温も
僕だけのもので
あって欲しかった

任務で頼まれても
ディルックがいるからと
断るような人間で
あって欲しかった

僕たちは大人だ

そんなのは無理だって
わかっていたはずなのに

いっそ
なにも知らない
子供のままで
いられたら

振り回すことに
罪悪感を感じずに
いられたのに

でも
少し嬉しいよ

?



いつも悪態は
つくくせに

弱いところだけは
見せようと
しないじゃないか



…こんなわがまま
言われても
迷惑だろう

悪態で

迷惑だなんて
とんでもない



言っただろう？
嬉しいって



お前の何を
知ったって

俺がお前を
好きなことは
変わらないさ



お前は
俺のあんな姿を
見て

…幻滅したかも
知れないが…

…そんなわけ
ない…

そうだ

知ったから
なんだと
言うんだ

ガイアから
スパイだと
打ち明けられた
時だって

衝突したけど
乗り越えてきた

僕らが互いに
何を知ったと
しても

この関係は
揺るがない

これくらいで
君を嫌いになったり
するわけがないだろう



ははっ

安心したよ

やっぱり
ストレートな
物言いの方が
お前らしくていいな

BE SWIN



君の仕事に
とやかく言う
つもりはないよ

でも...

夜、くらいは
会いにきて
欲しい

分かったよ

お姫様

ひ...



何だよそれ

しつこ

僕は疲れたから
上の仮眠室で
休ませてもらうよ

あとは
よろしく

えっ?
片付け全部
俺がやるのか...?

fin.